

# キリスト教の基礎知識 「クリスマス」

今年もイエス・キリストの誕生をお祝いするクリスマス。その時期がやってきました。イエス・キリストは今から約二千年前にお生まれになりましたが、実はその誕生は、それよりずっと前から予告されています。今回は、クリスマスに関連する旧約聖書の箇所をご紹介します。

聖書は大きく分けて、「旧約聖書」と「新約聖書」に分かれます。「旧約」「新約」というのは、それぞれ「古い契約」、「新しい契約」という意味です。簡単に言えば、イエス・キリスト以前に書かれたものが「旧約聖書」、キリスト以後に書かれたのが「新約聖書」です。キリスト教会はこのどちらも神の言葉として尊んでいます。

## 歴史を通して働く神

この他にも、旧約聖書にはイエス・キリストの到来を約束する言葉がいくつもあります。それどころか、イエスは旧約聖書の全体が自分を指し示していると言われました。このことは、救い主イエスの到来は、長い人類の歴史の中で常に働かれています。神のご計画に示されています。どんなに暗い時代であっても、つねに希望があることを聖書は語っているのです。

先ほどのイザヤ書には、来たべきキリストは「平和の君」と呼ばれるとも書かれています。今年も世界の平和を願いつつ、クリスマスを迎えたいと思いませんか。

## キリスト誕生の預言



新約聖書のマタイの福音書には、イエスが処女マリアからお生まれになる前に、マリアの婚約者ヨセフに天使が現れてその誕生を予告した後、次のように書かれています。

「見よ、処女が身ごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれ

る。」  
それは、訳すと「神が私たちとともにおられる」という意味である。

(マタイの福音書一・二三)

## 1 預言者

ここで「預言者」と書かれているのは、旧約聖書に登場するイザヤという人物です。(聖書では「予言者」ではなく「預言者」と書きます。)ここで引用されている言葉は旧約聖書のイザヤ書七章一四節に記されています。イエス・キリストが誕生するよりも約七五〇年前に生きたイザヤがイエス・キリストの誕生を予告していたと、福音書記者のマタイは考えたのです。

## 2 預言書

旧約聖書の中にはイザヤ書から始まって、マラキ書まで全部で一六の預言書があります。預言書は旧約聖書の四分の一以上を占めながら、どこことなく謎めいて、なじみの薄い書物かもしれませぬ。しかし「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。」(イザヤ書四三・四)のように、多くの人々を励め励ましてきた聖句があります。また、クリスマスに読まれる聖句「見よ、処女がみごもっている。そして男の子を産み、その名を『インマヌエル』と名づける。」(イザヤ書七・一四)も預言書にあります。

## 3 預言書が書かれた歴史的背景

最古の預言書はアモス書です。この時代、北王国(イスラエル)の繁栄の絶頂期でした。けれども、その中で民は「神と共に歩く歩き方」を見失っていききました。律法(トーラー)の心、愛の心を失っていったのです。貧富の差は異常に拡大し、身分の高い者たちは民衆を抑圧していききました。神への信仰もまた形骸化していききました。

そのような中で、神様は預言者を召し、彼らの口に神のことばを授け、律法に立ち返るよう神の民イスラエルに警告していききました。預言者アモスとホセアは、北王国の背教と甚だしい偶像礼拝へのさばきとして、アッシリヤによる蹂躪と切迫した王国滅亡を告げました。一方、イ

ザヤ、エレミヤ、ヨエル、ナホム、ハバクク、ゼパニヤは、南王国に同様の罪が増大し、誤った選民意識と神殿への過信が広まるなか、バビロンによる蹂躪と王国滅亡が迫っていることを告知しました。そして南北イスラエル滅亡後は、エゼキエル、ダニエル、ハガイ、ゼカリヤ、マラキが民を回復するという神のみこころを告げるのです。

ザヤ、エレミヤ、ヨエル、ナホム、ハバクク、ゼパニヤは、南王国に同様の罪が増大し、誤った選民意識と神殿への過信が広まるなか、バビロンによる蹂躪と王国滅亡が迫っていることを告知しました。そして南北イスラエル滅亡後は、エゼキエル、ダニエル、ハガイ、ゼカリヤ、マラキが民を回復するという神のみこころを告げるのです。

## 4 神は愛である

預言書を通して「私たちが愛して交わりの手を差し伸ばし、拒絶されて痛みながらも、その手を引こうとしない神様の姿」を見てきました。人がどんなに裏切り続けても、神は神らしくなく、人を捜し求め続けます。愛し続けます。ご自分のどんな犠牲をも(十字架!)かえりみず、私たちの自発的な愛を求め続ける神様。神は愛です。神の性質を表わすあらゆる言葉にまさって神は愛なのです。

紫金山・アトラス彗星を皆さんはご覧になりましたか。日本では一〇月二二日頃から日没間もない西空に見え始め、日を追うごとに高度が上がって見やすくなりました。条件の良くない東京でも、手持ちの双眼鏡で尾をひいた彗星がしっかりと見えましたよ。彗星名でネット検索すれば、見事な写真がたくさんアップされていますから、ご覧になってください。個人的には、一九九六年の百武彗星、翌年のヘル・ボップ彗星があまりに見事だったので、今回そこまで驚きませんでした。でも、空の暗い場所で見なかったで

すね。今年のクリスマスは、太陽系の二大惑星を楽しみましょう。夜九時頃、西の低空には明るい星の少ない領域にポツンと土星が見えます。また天頂近くには、おうし座のアルデバラン、オリオン座のベテルギウスとリゲル、ぎょしや座のカペラなどの一等星に囲まれ、負けじとばかりに輝く、飛び切り明るい木星が。明るさはマイナス二・八等です。ちなみに、東方の博士をキリストへ導いた「ベツレヘムの星」は、この二大惑星の会合だったとの説が有力。ツリ一のてっぺんにある星はこれです。

**<聖書を読む会>**

- 開催日: 第1、第3土曜日  
変更になる月があります。
- 時間: 午後2時~4時
- 場所: 寺尾地区センター他
- ※開催日と場所は下までお問合せ下さい。
- 問合せ先: 045-901-9560 村田

**<定期集会案内>**

- 主日礼拝 毎週日曜日 午前10時30分  
★一週間の始まりを、まことの神礼拝から。初めての方も歓迎です。新型コロナウイルス感染防止対策に努めながら礼拝を実施しています。聖書や讃美歌集はお貸しします。参加をご希望の方は事前にご連絡をお願い致します。
- 祈祷会 第2第4水曜日 午後7時30分  
参加をご希望の方は事前にご連絡をお願い致します。
- みことばの分かち合い 第2日曜日 礼拝後(変更になる月があります)  
★聖書/信仰書を皆で読み、学んだことや感想を分かち合う会です。お問い合わせは、電話045-572-0857 牧師:関野祐二までどうぞ。

12月1日 (日) Christmas 22日 (日) クリスマス礼拝 午前10時30分~正午 クリスマスにお生まれになったキリストを共に礼拝します。聖書等はお貸しします

24日 (火) キャンドルサービス 午後7時~8時30分 キャンドル片手に讃美歌を歌い、聖書のことばに耳を傾け、静かなイブを過ごします。

Angelic Smile Ensemble クリスマスコンサート 午後1時30分開場 午後2時開演  
バイオリン・ヴィオラ・チェロ・ピアノ